

平成 29 年度 事業報告

平成 29 年 4 月 1 日から平成 30 年 3 月 31 日まで

I. 事業の概要

平成 29 年度は下記のように、研究助成、褒賞、国際交流事業及び普及事業を実施した。

1. 研究活動に対する助成

平成 29 年 7 月、募集要領を、関連 34 学会、財団の理事、評議員に送付、及びホームページに記載し、研究助成候補者を公募。

締切日(平成 29 年 10 月 13 日)までに 93 件の応募があり選考の結果下記 12 件の助成を決定。 1 件=80 万円 (合計=960 万円)

- あげつま まさかず 揚妻 正和 (自然科学研究機構生理学研究所特任准教授)
「光と機械学習による情動制御機構の解明」
- あめもり けんいち 雨森 賢一 (京都大学白眉センター/霊長類研究所特定准教授)
「ドーパミン経路制御による意思決定の解明」
- おおしろ ともかず 大城 朝一 (東北大学大学院医学系研究科助教)
「多感覚統合における神経活動正規化の研究」
- きんの りゅうた 金野 竜太 (昭和大学医学部講師)
「神経膠腫の脳皮質構造に対する影響の解明」
- ささがわ きよたか 笹川 清隆 (奈良先端科学技術大学院大学物質創成科学研究科助教)
「高感度生体刺入型蛍光イメージセンサの開発」
- しみず きみこ 清水 貴美子 (東京大学大学院理学系研究科助教)
「高次脳機能のサーカディアン制御ネットワーク」
- てるぬま みほ 照沼 美穂 (新潟大学大学院医歯学総合研究科教授)
「アストロサイトによる新規の神経保護機構」
- のなか たかし 野中 隆 (東京都医学総合研究所認知症プロジェクト副参事研究員)
「タンパク質凝集体の細胞間伝播機構の解明」
- はやし やすのり 林 康紀 (京都大学大学院医学研究科教授)
「絶対位置情報から抽象的位置概念への変換」
- ふなと ひろまさ 船戸 弘正 (東邦大学解剖学講座准教授/筑波大学国際統合睡眠医科学研究機構客員教授)
「睡眠制御の細胞内シグナル伝達系解明」
- ほそや としひこ 細谷 俊彦 (理化学研究所脳科学総合研究センターチームリーダー)
「大脳単位回路の普遍性と皮質カラムとの関係」
- まさみず よしと 正水 芳人 (東京大学大学院医学系研究科助教)
「発達段階における自己制御の神経基盤の解明」

2. 研究に対する褒賞

平成 29 年 7 月、推薦要領を、関連 34 学会、財団の理事、評議員に送付、及びホームページに記載し、塚原仲晃記念賞受賞候補者の推薦を公募。

締切日（平成 29 年 10 月 13 日）までに、21 件の推薦があり、選考の結果下記 1 件の授賞を決定。褒賞額=100 万円

内田 直滋^{うちだ なおしげ}（ハーバード大学分子生物学部教授）

「報酬による学習・意思決定の神経メカニズム」

3. 国際交流助成

(1) 海外派遣研究助成

平成 29 年 7 月、募集要領を関連 34 学会、財団の理事、評議員に送付、及びホームページに記載し、海外派遣研究助成候補者を公募。

締切日（平成 30 年 1 月 12 日）までに、10 件の応募があり、選考の結果本年度は 該当なし と決定。

(2) 海外研究者招聘助成

平成 29 年 7 月、募集要領を関連 34 学会、財団の理事、評議員に送付、及びホームページに記載し、海外研究者招聘助成候補者を公募。

締切日（平成 30 年 1 月 12 日）までに、15 件の応募があり、選考の結果下記 9 件の助成を決定。合計=190 万円

（決定後に 1 件辞退したため、8 件 合計=170 万円となった。）

申込者：大黒達也^{だいこう たつや}（マックスプランク研究所 Scientific Researcher）助成額=20 万円
ステファン・ケルシュ氏（マックスプランク研究所／ベルゲン大学教授）を
ヒト脳機能マッピング学会での招待講演及び東大での特別講義のため招聘。
研究テーマ「音楽聴取に関わる神経生理学的研究」

申込者：奥野浩行^{おくのひろゆき}（京都大学大学院医学研究科特定准教授）助成額=20 万円
アナ・ベイラー氏（ボルドー大学助教授）を
第 41 回日本神経科学大会での講演及び国内研究機関での講演のため招聘。
研究テーマ「不安を司る神経回路の解明」

申込者：畑 豊^{はた ゆたか}（システム・マン・サイバネティクス国際会議学会長）助成額=20 万円
C・L・フィリップ・チェン氏（マカオ大学教授）を
IEEE SMC 国際会議での招待講演のため招聘。
研究テーマ「人工知能、ビッグデータ解析、IoT 研究の最前線」

申込者：喜多村和郎^{きたむら かずお}（山梨大学大学院総合研究部教授）助成額=20 万円
ジェニファー・レイモンド氏（スタンフォード大学教授）を
アジア・オセアニア生理学会大会での招待講演のため招聘。
研究テーマ「Advances in Understanding Cerebellar LTD and Motor learning:
A Celebration of Masao Ito」

申込者：佐々木秀直（第59回日本神経学会学術大会長）助成額＝20万円
ロイ・A・ホール氏（クイーンズランド大学教授）を
第59回日本神経学会学術大会での講演のため招聘。

研究テーマ「フラビウイルスの疫学、診断法、ワクチン開発」

申込者：岡澤均（第41回日本神経科学大会大会長）助成額＝30万円
ジェニファー・ダウトナ氏（カリフォルニア大学教授）を

第41回日本神経科学大会でのプレナリーレクチャーのため招聘。

研究テーマ「CRISPR-Cas Gene Editing: Mechanisms and Applications」

申込者：樽野陽幸（京都府立医科大学大学院医学研究科講師）助成額＝20万円
エミリー・R・ライマン氏（南カリフォルニア大学教授）を

第41回日本神経科学大会での講演及び国内研究機関訪問のため招聘。

研究テーマ「イオンチャネル生物物理と味覚受容機構」

申込者：佐藤正晃（理化学研究所客員研究員／埼玉大学特任准教授）助成額＝20万円 **※辞退**
クリス・シュー氏（コーネル大学教授）を

第41回日本神経科学大会での講演のため招聘。

研究テーマ「多光子顕微鏡法による深部脳イメージング」

申込者：尾藤晴彦（東京大学大学院医学系研究科教授）助成額＝20万円

ダン・B・アーノルド氏（南カリフォルニア大学文理学部教授）を

第41回日本神経科学大会での講演及び東大での講義のため招聘。

研究テーマ「脳情報動態解読の先端計測実験デザイン：その可能性と限界」

4. 普及啓発事業

(1) 講演会等の開催

①「塚原仲晃記念賞」受賞記念講演会

平成29年7月20日（木）午後5時00分から午後7時00分

幕張メッセ国際会議場コンベンションホールA、第31回（平成28年度受賞者）

塚原仲晃記念賞受賞記念講演会を開催。対象は脳科学関係の研究者。

参加者約500名。入場無料。

②「脳の世紀」シンポジウム

平成29年9月13日（水）午前10時15分より有楽町朝日ホールにて「脳の世紀」

シンポジウムをNPO法人脳の世紀推進会議と共同開催。

特別講演 及び 脳を知る・脳を守る・脳を育む・脳を創るの各テーマについて講演。

対象は一般市民。参加者約700名。入場無料。

特別講演：「日本の色を鑑る」

吉岡 幸雄（染織史家）

脳を知る：「色ときらめきにあふれる3D世界と私たちの脳」

藤田 一郎（大阪大学大学院生命機能研究科教授）

脳を守る：「失われた空間—半側空間無視の世界—」

石合 純夫（札幌医科大学医学部教授）

脳を育む：「iPS 細胞による網膜再生医療」

高橋 政代（理化学研究所多細胞システム形成研究センター／

網膜再生医療研究開発プロジェクトプロジェクトリーダー）

脳を創る：「人間と機械の質感認識」

西田 眞也（NTT コミュニケーション科学基礎研究所上席特別研究員）

③ 「世界脳週間」の開催

「世界脳週間」を NPO 法人脳の世紀推進会議と共同開催。

平成 29 年度は春から秋にかけて全国の下記 13 会場にて開催し、公開講演、討論、病院や研究所の公開、学校訪問などを実施。対象者は中高校生及び学校関係教職員と一般市民。参加費無料。

新潟大学脳研究所、群馬大学医学部基礎大講堂、名古屋市立向陽高等学校、京都市立堀川高等学校、国立精神・神経医療研究センター神経研究所、岡崎げんき館、東北大学星陵キャンパス、広島大学医学部第 5 講義室、理化学研究所大河内記念ホール、北海道大学医歯学総合研究棟組織病理学実習室、学校法人桜蔭学園桜蔭高等学校、玉川大学工学部、九州大学医学部百年講堂

「世界脳週間」とは、脳科学の科学としての意義と社会にとっての重要性を一般に啓発することを目的として、世界的な規模で行われるキャンペーンで、1993 年アメリカ合衆国での開催を皮切りに全世界に拡大し、我が国は 2000 年から参加。

（2）広報活動

研究報告集：第 30 回塚原仲晃記念賞受賞者及び第 30 回研究助成受領者の研究報告を「ブレインサイエンス・レビュー 2018」として編集。

II. 処務の概要

1. 役員に関する事項

（1）理事及び監事

平成 30 年 3 月 31 日現在の理事・監事は別紙に記載のとおり。

（2）理事会

平成 29 年度第 1 回理事会（平成 29 年 5 月 16 日開催）

決議事項

①平成 28 年度事業報告

②平成 28 年度収支決算報告

報告事項

①平成 28 年度会計監査執行の報告

②代表理事及び常務理事の職務執行状況の報告

平成 29 年度第 2 回理事会（平成 30 年 2 月 28 日開催）

決議事項

- ①第 32 回塚原仲晃記念賞、研究助成及び第 31 回国際交流助成の選考
- ②平成 30 年度事業計画
- ③平成 30 年度収支予算
- ④選考委員の選任

報告事項

- ①代表理事及び常務理事の職務執行状況の報告

2. 評議員に関する事項

(1) 評議員

平成 30 年 3 月 31 日現在の評議員は別紙に記載のとおり。

(2) 評議員会

平成 29 年度定時評議員会（平成 29 年 6 月 5 日開催）

報告事項

- ①平成 28 年度事業報告
- ②平成 28 年度会計監査執行の報告

決議事項

- ①平成 28 年度収支決算報告
- ②監事の選任

平成 29 年度第 1 回臨時評議員会（平成 30 年 3 月 16 日開催）

承認事項

- ①第 32 回塚原仲晃記念賞、研究助成及び第 31 回国際交流助成の選考
- ②平成 30 年度事業計画
- ③平成 30 年度収支予算

3. 選考委員に関する事項

(1) 選考委員

平成 30 年 3 月 31 日現在の選考委員は別紙に記載のとおり。

(2) 選考委員会

平成 29 年度選考委員会（平成 30 年 2 月 16 日開催）

協議事項

- ①第 32 回塚原仲晃記念賞受賞者の選考
- ②第 32 回研究助成受領者の選考
- ③第 31 回国際交流助成受領者の選考

4. 顧問に関する事項

平成 30 年 3 月 31 日現在の顧問は別紙に記載のとおり。

5. 事務局職員に関する事項

事務局長 佐藤裕子

事務局員 小杉夏子

6. 登記に関する事項

平成 29 年 6 月 13 日：監事の変更登記（東京法務局提出）

7. 寄附金に関する事項

寄附金収入額は 5,000,000 円（企業 1 社より）

理事及び監事

(平成 30 年 3 月 31 日現在)

理事長	廣川 信隆	東京大学大学院医学系研究科特任教授
常務理事	川合 述史	千葉・柏リハビリテーション病院精神神経センター長
	貴邑 富久子	横浜市立大学名誉教授
理事	伊藤 正男	理化学研究所脳科学総合研究センター特別顧問
	久保田 競	国際医学技術専門学校副校長
	永津 俊治	名古屋大学及び藤田保健衛生大学医学部名誉教授
	御子柴 克彦	理化学研究所脳科学総合研究センターチームリーダー
	尾高 和浩	本田技研工業株式会社執行役員
監事	伊藤 醇	公認会計士
	鈴木 雅文	本田技研工業株式会社取締役監査等委員

評議員

(平成 30 年 3 月 31 日現在)

議長	大塚 正徳	東京医科歯科大学名誉教授
評議員	鈴木 良次	金沢工業大学研究支援機構顧問
	津本 忠治	理化学研究所脳科学総合研究センター サイエンスコーディネーター
	外山 敬介	株式会社 ATR 脳情報研究所招聘研究員
	三品 昌美	立命館大学総合科学技術研究機構教授
	水野 昇	京都大学名誉教授

選考委員

(平成 30 年 3 月 31 日現在)

委員長	宮下 保司	東京大学大学院医学系研究科教授
委員	伊佐 正	京都大学大学院医学研究科教授
	岡澤 均	東京医科歯科大学難治疾患研究所教授
	岡野 栄之	慶應義塾大学医学部教授
	岡部 繁男	東京大学大学院医学系研究科教授
	尾崎 紀夫	名古屋大学大学院医学系研究科教授
	狩野 方伸	東京大学大学院医学系研究科教授
	後藤 由季子	東京大学大学院薬学系研究科教授
	酒井 邦嘉	東京大学大学院総合文化研究科教授
	渡邊 大	京都大学大学院医学研究科教授

顧問

(平成 30 年 3 月 31 日現在)

川本 信彦	本田技研工業株式会社最高顧問
佐野 豊	京都府立医科大学名誉教授
椎名 武雄	日本アイ・ビー・エム元会長
塚原 眞佐子	故塚原仲晃教授夫人